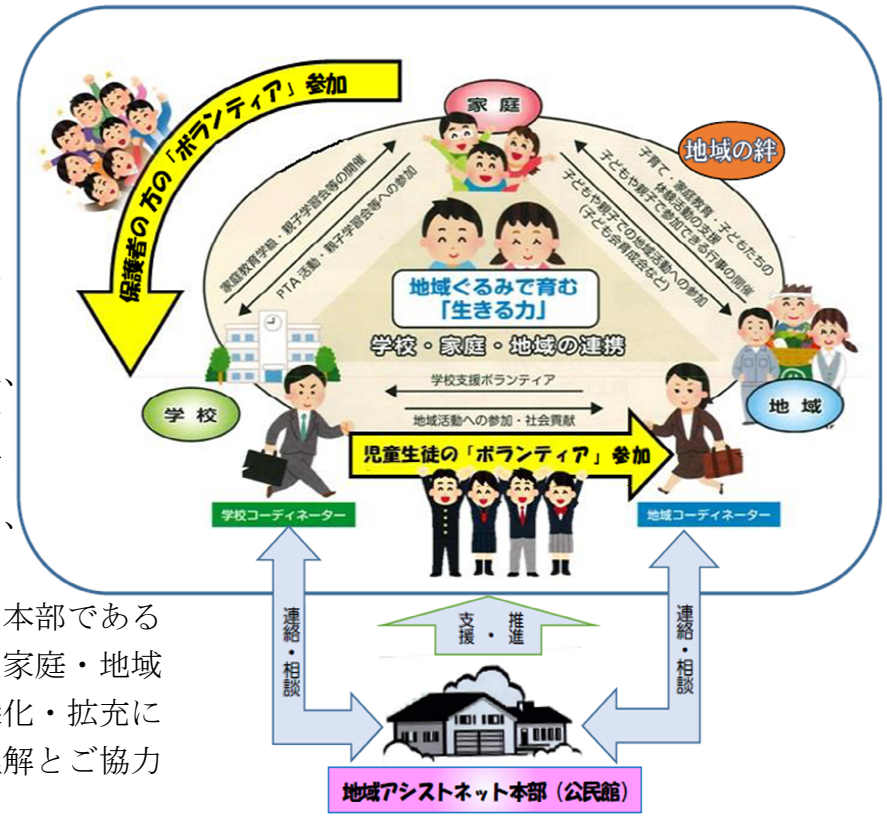
岩舟アシストネットだより

岩舟公民館
R7.2.20 発行

栃木市の「とちぎ未来アシストネット」事業は平成２４年度から始まり、今年度で１３年が終わろうとしています。アシストネットとは、「アシスト（手助け）するネットワーク（つながり）」という意味です。

岩舟地域の小中学校においては、地域の方々による学校支援ボランティアが定着しており、学校教育の充実、地域の絆づくりにおいて、毎年多大な成果をあげています。



これからも岩舟アシストネット本部である岩舟公民館を拠点として、学校・家庭・地域の連携を深めながら、本事業の深化・拡充に努めていきたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【岩舟地域各小・中学校の活動紹介】

【岩舟小学校】

（初めてのミシン操作）

【ミシン操作ボランティア】

今年度は、様々な学習支援に地域の方と保護者に入っていただきました。「５・６年生のミシン学習」では、毎回 10 名程の地域ボランティアの方と保護者５名以上のボランティアが、手厚く児童に学習支援を行っています。５年生は初めてのミシン操作ですが、安全・安心に学習に取り組むことができ、多くの子ができた喜びを味わっていました。

保護者とアシストネットの両方から募集をかけることで、十分な学習支援の人数が確保することができました。また、保護者にとっては、授業参観以外で子どもと接する機会となりました。

【静和小学校】

（丁寧な支援のおかげで、上手に縫えるようになりました！）

【５・６年生　裁縫・ミシンボランティア】

５年生にとって初めての裁縫の授業では、針の使い方やなみ縫いの仕方を優しく教えていただきました。自分の力でペンケース（小物）ができ、宝物になったようです。秋には、ドキドキしながらミシン縫いに挑戦。丁寧に支援していただきました。６年生のナップザック作りでは、ミシンがけを細やかに指導していただき、素敵な作品が仕上がりました。また、ミシンの点検、給食の白衣修繕や各教室のカーテン用のタッセルを手作りしていただく等、環境整備にもご協力いただきました。

地域の方々との交流を通して、地域のよさを実感しコミュニケーション力を高め、子どもたちは日々大きく成長しています。

【小野寺小学校】

（神社の説明を
聞いている児童たち）

【まちめぐり】

３年生が社会科で、郷土について詳しく学ぶために行っている校外学習では、毎年、地域の歴史を詳しく知る方がボランティアでガイドをしてくださっています。大慈寺、村檜神社、高勝寺、石の資料館など歴史的に価値のある建物について詳しく教えていただきました。

児童たちは、自分の住んでいる地域の歴史について深く知ることができました。また、身近な場所に価値ある建物があることを知り、ふるさとに誇りをもつ有意義な機会となりました。

【岩舟中学校】

（施設の環境整備として
活動する子どもたち）

【特別養護老人ホーム　ビオラ植え活動】

特別養護老人ホームより依頼を受け、ボランティア活動に参加しました。本校ではこどもフェスティバル、こども食堂、アグリ体験、地域クリーン作戦、福祉施設環境整備、岩舟ウォークラリーなど数多くのボランティア活動に参加しています。地域の多くの方々には本校の授業でのボランティアでお世話になっていますので、生徒は感謝の気持ちを地域へのボランティア活動としてお返ししています。

子どもたちの心の中に育っているボランティア精神。学校から地域へ、地域から学校へと絆が確実に強まってきました。

♡ ♡ ♡ *あなたのお力を学校の子どもたちのために*

き・ず・な・む・す・ぶ
とちぎ未来
ASSISTNET

ボランティアには、地域にお住いの方がもっている専門的知識や技術が必要なものもありますが、誰にでもできるボランティア活動もたくさんあります。まだ経験されていない方も、学校に入ってボランティアとして支援してみませんか。きっと新しい世界が開けると思います。下記の例を参考に、ご協力いただける方は、各学校または岩舟公民館までご連絡ください。

〔各学校で行われている学校支援ボランティアの例〕

・登下校の見守り活動　・読み聞かせ　・家庭科授業支援（裁縫、ミシン等）
・学習支援（生活科、習字、パソコン、生け花、茶道、戦争体験講話、そろばん等）
・環境整備（学校農園や花壇の管理、樹木の選定、校舎の飾りつけ等）